



JISA Awards2012受賞記念講演会開催 ～サービス化とグローバル化の先進事例～

平成24年3月27日、経団連会館で「JISA Awards2012受賞記念講演会～サービス化とグローバル化の先進事例～」が開催された。参加者は会員及びメディア関係者など88名。

「JISA Awards 2012」は、独創性が高く国際的に通用するシステムの創造者を表彰する制度として、広報・人材委員会(委員長:神山茂副会長)及び広報部会(部会長:和田泰之、(株)NTTデータ広報部長兼秘書室長)を中心に企画検討し、平成23年度に創設したものである。昨年8月に募集を行い、12月に選考委員会(委員長:坂村健東京大学教授)において厳正な選考を行った結果、次の2件をWinnerとして選定し、本年1月の賀詞交歓会にて表彰した。

○SCSK株式会社「PrimeCloud Controller」

自社で独自に開発した、ハイブリッドクラウドに対応したクラウド管理製品。パブリッククラウドとプライベートクラウドを統合管理でき、OS、ミドルウェアの設定や監視システムとの連動を自動で実現。

○株式会社NTTデータ「Global One Team」

グローバル戦略の一環として、グローバル間のシナジー創出や事業体制の強化に向けて、グループ全体で共通するテーマごとにチームを立ち上げ、国内外のグループ企業の得意技やリソースを結集する取り組み。

講演会では、神山茂副会長の開会挨拶の後、浜口友一会長より「欧米韓のITを見て～グローバルSI、ベンチャー育成、電子政府の動向と今後の日本の情報サービス産業のあり方」と題する基調講演があった。米国、東南アジア、米国等で実際に試行錯誤しながらビジネスを実践した際の経験に基づき、グローバルビジネスの難しさや取り組みのポイントについて説明があった。また、韓国における電子政府・行政を始めとするさまざまな分野でのIT活用の先進的な取り組みについて、最近の視察で実態を目の当たりにした経験から、彼我の差について強い危機意識を訴えた。

引き続き「JISA Awards 2012」受賞者による講演が行われた。最初に瀧澤与一氏(SCSK株式会社クラウド事業本部 基盤統括部 第1開発課 課長)より、受賞システム「PrimeCloud Controller」について、システムの概要とともに発想の原点や会社内の雰囲気作りなどシステムを創造し浸透させた背景等について説明があった。Urban Hopen氏(株式会社NTTデータ グローバルビジネス統括本部グローバルビジネスユニットエンタープライズアプリケーション担当部長)からは受賞システム「Global One Team」について、会社としてのグローバル展開の状況や「Global One Team」のような取り組みが必要となった背景、実際に取り組んでみてうまくいったことや今後の課題について説明があった。なお、Hopen氏の講演は英語と逐次通訳により行われた。

講演会終了後には情報交換会が行われ、引き続き、講演者及び参加者による活発な情報交流が行われた。

なお、JISAは平成24年度にも「JISA Awards2013」を実施する予定であり、会員各位には奮ってご応募をお願いしたい。

(田畑)